

Kiwamu Okabe (岡部 究)

Phone: +81-90-3524-7064
Email: kiwamu@debian.or.jp
Homepage: <http://masterq.metasepi-design.com/>

Interests

株式会社リコーにて 10 年の組み込み開発に従事した後、Haskell をはじめとした関数型プログラミングによるアプリケーション設計を学びました。そして Metasepi¹ というプロジェクトにて関数型プログラミング言語の持つ強い型を組み込みプログラミングに応用できないか探求しています。その 1 つの試みとして組み込み向け Haskell コンパイラ Ajhc² を開発してきました。またその成果を論文³ もしてきました。

現在は組み込み向け関数型言語として ATS 言語⁴ を選択し、この ATS に関する日本語情報を集約する Web サイト「Japan ATS User Group⁵」を運営しています。その主な活動は英語のマニュアル/ブログ記事/論文などの翻訳です。また、これらの技術が実用化できるか、ARM Cortex-M シリーズや 8bit AVR など小規模なマイコンを使って検証⁶ をしています。

Metasepi は上記のような大変実験的かつ野心的なプロジェクトですが、その副産物として、組み込み領域だけに留まらず本当に実用化できる「予測可能な工数で安全に実際のソフトウェアを作る技術」を日々探求試作しています。

Work Experience

2015 年 03 月 - 現在: センティリオン株式会社にてソフトウェアエンジニア

- クラウドコンピューティングに関するソフトウェアエンジニアリング

2014 年 08 月 - 現在: 独立行政法人理化学研究所 計算科学研究機構にて研究嘱託

- 組み込み関数型プログラミングに関する研究

2014 年 09 月 - 2014 年 12 月: 株式会社あくしゅにてソフトウェアエンジニア

- OpenFlow アプリケーション “OpenVNet”⁷ の開発

2013 年 08 月 - 現在: METASEPI DESIGN にて自営業

- Ajhc Haskell コンパイラの研究開発
- 組み込みソフトウェア開発のサポート
- ATS 言語コンサルティング
- Metasepi プロジェクトの運営とそのコア技術の研究開発

¹<http://www.metasepi.org/>

²<http://ajhc.metasepi.org/>

³<http://www.metasepi.org/papers.html>

⁴<http://www.ats-lang.org/>

⁵<http://jats-ug.metasepi.org/>

⁶<http://fpiot.metasepi.org/>

⁷<https://github.com/axsh/openvnet>

2012年 03月 - 2013年 07月: ミラクル-リナックス株式会社にてソフトウェアエンジニア

- PowerPC Linux の SMP 排他による検証/修正
- PowerPC 版 crash コマンド (デバッグツール) の不具合修正
- NSIS を使った新しい Windows アプリケーションインストーラの作成
- 社内 git サーバの新規運用開始
- 新規ハードのデジタルサイネージ性能検証/チューニング

2001年 04月 - 2012年 02月: 株式会社リコーにてソフトウェアエンジニア

2010年 04月: 新規 x86 アーキテクチャへの OS ポーティング (リーダー)

古い x86 ボードが生産寿命を迎えたため、新規 x86 ボードへの NetBSD-2.0 移植。また BIOS メーカー選定/委託締結。

- BIOS メーカーを 3 者で選定。品質、サポート技術力、起動時間など細かい評価項目を使って得点評価の後選定
- 新人時代に作成した Option BIOS を捨てて、新しい BIOS 構成を使った起動方式に仕様変更
- OS ポーティング前に起動時間を予測。起動時間改善案を提案+スケジュール

2008年 04月: NetBSD OS 開発/技術サポート (リーダー)

既存機種の障害解析と、新規機能開発を行なうチームの技術リーダーに就任。機種群全体のプロジェクト管理リーダーと二人で OS 開発を担い、実作業は完全に外部委託化。以下主な成果。

- 仮想メモリでのページ回収コードに不具合があり、修正 patch を協議の上作成
- 無線 LAN 環境での TCP/IP ソケットが close できない不具合解析。パケット送信遅延によるソケット切断不能が原因
- 電源ボタンをソフトウェア検知してソフトウェアによって電源を落すしくみをリレーと watchdog のみのハードを用いてソフトウェア側で対応
- msdosfs の電源断耐性を向上させる検討

2006年 04月: NetBSD-2.0 の組込みポーティング/開発 (メンバー)

NetBSD-1.5 → 2.0 への移行に際してあらゆるサポート。

- NetBSD-1.5 ベースでの ROM 化方式/ライブラリ分割の方式を再検討/外部委託

2006年 04月: スレッドライブラリ開発 (主担当)

これまでユーザ空間スレッド (pthread 互換) で構築されていたコピー機のシステムを NetBSD-2.0 標準の m:n スレッドで再構築した。

m:n スレッドは当然そのままでは製品化できず、以下多くの改修を行なった。

- kernel,libc,libpthread の 3 者におけるスレッドセーフ/キャンセルセーフ調査
- 上記に対してテストコード作成/修正

- 上記に対して社内だけでは改修工数が明確に不足、外部委託+検収 (このスレッドライブラリの検収レビューは検収側が妥当性を判断するのが大変困難)
- m:n ライブラリに不足していた posix API を追加。追加不能部分は移行マニュアル作成
- シグナル周りに大きな問題があることが発覚。修正コード作成。最終的には基本設計的に回避不能ものについてはアプリケーション側でのシグナル取り扱いマニュアルを作成
- それでも生じるシグナル周りの不具合についてチーム共同で数年間メンテナンス

2004 年 06 月: コピー機起動時間を 10 秒に (主担当)

それまで 30 秒程度かかっていたコピー機の起動時間を 10 秒まで短縮することに成功した。まず起動時間を測定するログ収集ツールとログ解析ツールを考案/実装。その上で、OS 側起動時間とアプリケーション側起動時間を分離。OS 側起動時間については OS チームで独自に高速化を行なった。

アプリケーション群の高速化については部品毎に別部署管理であったため困難であった。上記解析ツール測定結果からアプリケーション間 IPC 接続の順序を調べ、その接続待ち合わせ周辺のソースコードを OS 側の視点から分析することで IPC 待ち合わせ時間の短縮をおこなった。

また、ストレージからアプリケーション群を読み込む DMA 時間自体も問題であった。そこで、最終的にはアプリケーション群を初期画面表示関連グループとその他機能グループに分割して、初期画面表示関連グループのみを OS 起動直後にストレージから読み込み起動。画面表示を待ってからストレージから読み込むようにして、10 秒を達成した。

上記の測定ツールと解析手法は今も imagio シリーズの製品化毎に実施されている。

2003 年 10 月: 海外委託先と新規 BIOS 開発 (主担当)

コピー機 (imagio) の BIOS について、他メーカーに発注。BIOS メーカーに日本法人がなかったため、海外にて要求仕様協議。前回契約での BIOS と互換の BIOS を他メーカーで実現。imagio シリーズにて製品搭載。

2002 年 12 月: 社内製無線 LAN チップ (MAC コア) への内蔵ソフトウェア開発開始 (メンバー)

ARM アーキテクチャを使った無線 LAN MAC チップの開発メンバーに。他業務とのかねあいで、途中でチームから抜ける。

2002 年 11 月: 組込み機器 認証起動方式の開発 bootloader 部分 (主担当)

セキュリティ強化のためにコピー機内部ファームウェアを認証しながら起動する方式を検討/実装した。主な開発項目は以下の通り。

- bootloader への公開鍵アルゴリズム搭載
- SD カード上への鍵情報搭載方式の検討
- SD カードのカスタムフォーマットの発注とサポート

2001 年 07 月: 社内初の x86 アーキテクチャコピー機の BIOS/bootloader 開発 (主担当)

それまで mips アーキテクチャを採用していたコピー機を x86 アーキテクチャを用いて開発するプロジェクトに新人として配属。開発した製品は imagio シリーズ⁸として現在も出荷され続けている。また現在出荷されている x86 CPU を用いたリコー製のコピー機とプリンタは、新人時代に設計した BIOS と bootloader の基本設計をそのまま引き継いでいる。

主な開発項目は以下の通り。

- 一般的な BIOS へのカスタマイズ要求仕様策定

⁸<http://www.ricoh.co.jp/imagio/>

- 自己診断プログラム開発の発注とサポート
- 機種抽象化データ構造の策定
- SD カード起動 Option BIOS の設計

Education

- 2001 年 03 月: 東京都立大学 修士卒業/工学研究科電気工学専攻 電気・電子工学
研究概要: 水晶振動子のマルチモードを使用した気体センサの作成
- 1999 年 03 月: 東京都立大学 大学卒業/工学部電気工学科 電気・電子工学
研究概要: 光ファイバの物性モデル計算

Publications and Reports

- 岡部究, Hongwei Xi 「Arduino programing of ML-style in ATS」, ML workshop 2015 ⁹
- 岡部究, 村主崇行 「Systems Demonstration: Writing NetBSD Sound Drivers in Haskell」, Haskell Symposium 2014 ¹⁰
- 2014 年 08 月: 「ATS 言語を使って不変条件を API に強制する」, 夏のプログラミング・シンポジウム 2014 ¹¹ 2014.
- 2014 年 01 月: 「強い型による OS の開発手法の提案」, 第 55 回プログラミング・シンポジウム ¹²

Activities

Open-source projects

Metasepi project ¹³

- ML や Haskell のような強い型を使って UNIX ライク kernel を書き直すプロジェクト。現在 NetBSD kernel のドライバを Haskell 化中。 <https://github.com/metasepi/netbsd-arafura-s1>

Ajhc Haskell compiler ¹⁴

- Jhc Haskell Compiler <http://repetae.net/computer/jhc/> に組み込み拡張を加えた Haskell コンパイラ。再入可能なプログラムを作成でき、メモリ数十 kB でも動作可能なバイナリを吐く。

Japan ATS User Group ¹⁵

- 日本における ATS 言語 <http://www.ats-lang.org/> の利用促進を目的としたユーザグループ。ATS 関連ドキュメントを日本語訳中。

⁹<http://www.metasepi.org/doc/metasepi-icfp2015-arduino-ats.pdf>

¹⁰<http://metasepi.org/doc/metasepi-icfp2014-demo.pdf>

¹¹http://www.metasepi.org/doc/20141101_prosym_summer2014.pdf

¹²http://metasepi.org/doc/20140110_prosym55.pdf

¹³<http://metasepi.org/>

¹⁴<http://ajhc.metasepi.org/>

¹⁵<http://jats-ug.metasepi.org/>

Debian Maintainer ¹⁶

- Debian squeeze にて uim、sid にて Haskell 関連パッケージメンテナ。

Carettah ¹⁷

- Haskell 製プレゼンテーションツール。2011 年 08 月以降全てのプレゼンテーションをこのツールを使って作成。

Computer Skills

- Languages: Haskell, C, ATS, Intel assembler, Ruby
- Platforms: Linux, NetBSD, Android NDK, MinGW

Reference available upon request

- 黒岩 健太郎 研究主任 - センティリオン株式会社
- 山崎 泰宏 代表取締役 - 株式会社あくしゅ
- 村主 崇行 - 独立行政法人理化学研究所 計算科学研究機構
- 児玉 崇 社長 - ミラクル-リナックス株式会社
- 千田 滋也 - 株式会社リコー
- 関本 仁 教授 - 首都大学東京 工学部電気工学科 電気・電子工学

Last updated: December 15, 2015

¹⁶<http://qa.debian.org/developer.php?login=kiwamu@debian.or.jp>

¹⁷<http://carettah.masterq.net/>